



マイスターDX

DXビジョンと推進シナリオ

株式会社マイスター
制定：2022.9.30

目次

01. DXビジョン	P.03
02. DX推進シナリオ(戦略)	P.04
03. 現在行っている具体的な取組	P.05
04. DX推進 達成に係る指標	P.06
05. DX化推進体制	P.07
06. デジタル環境整備	P.08
07. DX人材育成	P.09
08. セキュリティ対策	P.10

01. DXビジョン

マイスターの使命は

お客様と同じ視点から課題に向い合い、幅広い知識と技術で価値を提案し、その提案した価値を道具で具現化する。それにより、お客様自身が付加価値の高い仕事ができるようになっていただくことです。

マイスターDXでは、現在行っているプロセスイノベーション※¹のDXで

- ・ 社内の課題を解決（社内の効率化）
- ・ 開発の内製化、ノウハウの蓄積
- ・ デジタルな組織への変革を進め、

そして将来、プロダクトイノベーション※²のDXにより

- ・ デジタルなプロダクトによる社外の課題解決
- ・ 市場競争力の確立を進めます。

これらのDXの推進によりマイスターの使命を果たし、お客様に新しい価値を提供し続けてまいります。

※¹生産・流通の過程を改善して生産効率を向上させること

※²革新的な製品を開発し、他社と差別化して競争力を高めること

02. DX推進シナリオ(戦略)

短期戦略	中・長期戦略	
プロセスイノベーションのDX		プロダクトイノベーションのDX
<p>社内の業務の分析(社内の効率化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの蓄積 ・業務の標準化 ・社内システムインテグレータ(社内システムの刷新を行う人)の育成 <p>開発の内製化、ノウハウの蓄積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レガシーシステムのモダナイズ(現代化すること) ・既存アナログ技術をデジタルで再設計 	<p>デジタルな組織への変革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット化 (システムインテグレータによる) ・予測と検証(技術者による) ・自動化(AIで動く工場) <p>製造をロボットが行うことで社員が能力を発揮しお客様へのサービス向上(課題発見・課題解決)にリソース(お金、人、情報、時間)を充てる。</p>	<p>デジタルなプロダクトによる社外の課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルを用いてお客様から相談等を受ける ・デジタルサービスを含んだUX(ユーザーエクスペリエンス)^{※3}の向上 ・最適なソリューション^{※4}の提案 <p>上記の仕組みを取り入れた取組で市場競争力を確立する</p>

※³お客様が感じる使いやすさ、感動、印象といった体験

※⁴お客様が抱える課題・問題を様々な方法で解決に導くこと

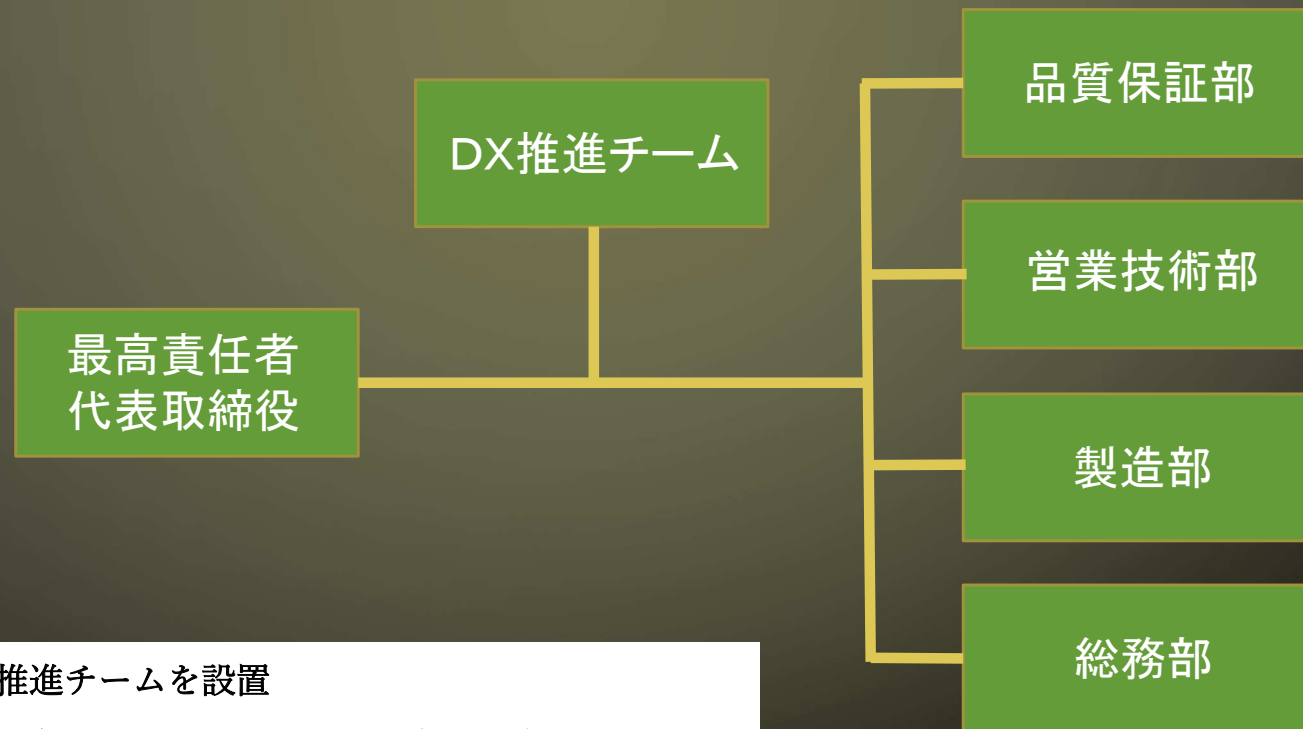
03. 現在行っている具体的な取り組み

- ・ 見積ソフト、生産管理ソフト、各種統計ソフトの作成
- ・ 社内システムインテグレータの育成
- ・ IoTの活用で
 - 設備稼働状況を見ることができる（遠距離・PTZカメラ）
 - 設備稼働状況を知ることができる（スマホ等・停止時メール送信）
- ・ デマンド警告を社内SNSで情報発信する仕組み
- ・ プロセス簡略&見える化（備品の在庫状況が分かるようにランプ表示）
- ・ 工具検索システム（探索・選択コストの削減のためのシステム開発）
- ・ 社内コミュニケーション、情報共有（Slack、Googleカレンダー）
- ・ 各部署ごとのIT化、RPA化
- ・ 改善提案を活用したDX推進
- ・ 課題解決のための専門知識を持ったステークホルダーとの協力

04. DX推進 達成に係る指標

短期戦略	中・長期戦略	
	プロセスイノベーションのDX	プロダクトイノベーションのDX
<ul style="list-style-type: none">・社内システムインテグレータの育成・デジタル人材育成(全社員)・社内業務RPA化の推進・デジタル改善提案件数の増加・Slack使用率100%・システム更新・導入(販売管理、勤怠管理etc)	<ul style="list-style-type: none">・社内システムインテグレータの増員・製造現場でのRFIDの活用・システムインテグレータによる業務のロボット化・製造現場の自動化(AIで動く工場)	<ul style="list-style-type: none">・デジタルを利用して簡単・手軽にお客様の課題や問題を相談できる仕組みやシステムの開発

05. DX化推進体制



社長直轄のDX推進チームを設置

DX推進チームが各部署からDX推進担当者を任命

DX推進担当者が各部署内のDX化を推進

最終的には全社員がDX化に向けた改善を意識する人材になる

06. デジタル環境整備

社内デジタル基盤の整備

デジタル技術の導入や自動化を実現するため以下の環境を整え、社内のデジタル基盤を構築し効率化を目指す。

- ・ I o T 対応の第 2 工場建設
- ・ 社内ファイルサーバーでのデータ共有
- ・ ネットワーク環境（社内ネットワーク無線化）の整備
- ・ U T M 導入によるセキュリティの強化
- ・ ネットワーク P C へのセキュリティソフト導入
- ・ モバイル端末（P C、タブレット）の配布
- ・ V P N 接続による安全な接続の確立
- ・ ビジネスチャットツールの導入によるコミュニケーション
- ・ フリーアドレスによるコミュニケーションの活性化

07. DX人材育成

デジタル技術やデータ活用に精通する人材や作業効率化の提案ができる人材の育成を行う。

- ・ 元SEの人材採用
- ・ 専門技術を学ぶため専攻科のある学校への入学
- ・ 社内システムインテグレータの育成
- ・ 特定の人だけでなく全社員をDX人材に育成する。
DX人材はシステムを作る人ではなく、「こうすればもっと便利になる」、「お客様へのサービス向上につながる」を考えて提案できる人材。
- ・ DX人材を育成するために情報発信、研修、勉強会を行う

08. セキュリティ対策

- ◎マイスターは情報処理推進機構（IPA）が実施している、「SECURITY ACTION」における二つ星を宣言いたします。
- ◎お客様情報や社内重要情報を適切に管理し、継続的な情報セキュリティ対策の見直しと改善を行ってまいります。
- ◎弊社の事業を安全かつ継続的に行うために「情報セキュリティ基本方針を定め、これを徹底いたします。

セキュリティ対策として以下を実施します。

- ①情報セキュリティガイドラインのホームページ公開
- ②情報セキュリティ自社診断の実施
- ③情報セキュリティ関連規程の策定
- ④全社員に向けたセキュリティ知識の周知（研修・情報発信等）
- ⑤攻撃型メールの訓練（不定期）